



会からのお知らせ

○7月度定例役員会

7月8日(土) ふるさと歴史館視聴覚教室
13:00～封入作業 (会員の皆様のご協力をお願いします)
13:30～14:30 役員会

第46回東村山雑学講座

日時 7月8日(土) 15:00～16:30

場所 ふるさと歴史館 視聴覚室

演題「私の野外活動研究・着衣泳一超スキー練習法、アメリカ国立公園他」

講師 埼玉大学教授(教育学部・体育医科学専攻) 野沢 巖 (東村山市在住)

テレビ出演もあり、ビデオを使った楽しい講座になると思いますので、多数の皆様のご参加をお待ちしております。

○納涼会のお知らせ

今年も當間邸のお庭をお借りして納涼会を開催する予定です。

日時：7月29日(土) 予定

詳細は次号でお知らせいたします。

○近隣稲門会出席

5月21日(日) 西東京稲門会総会 長井副会長・小亀副会長

6月17日(土) 武蔵野稲門会 山下会長・小野幹事

体育18、サークル47、有志62 合計1,228

○会費納入(5月27日迄受付分) 有り難うございました。(会計幹事)

塩見之一、寄本勝美、村山政利、山路和男。

未納の8名の方、郵便振替口座又は銀行口座へお振り込み下さい。

○2006年 稲門祭のご案内

今年も ^{つなげ} _{エンジの} 襷 を合い言葉にホームカミングデーが開催されます。

開催日 10月22日(日)

●10:30～ホームカミングデー式典(昭和32、37、47、57卒業生)

●12:00～稲門祭 アトラクション

●14:45～福引抽選会(10号館109教室)

福引券(1枚2,000円何枚でも購入可)を是非お買い求め下さい。

・もれなく事前に「記念品」が貰えます

・当日参加できない方は実行委員が抽選代行も致します。

ビックな「景品」が当たるかもしれません。

詳しくは小亀(394-6951) 風間(394-5279) まで

第 4 5 回東村山雑学講座報告

平成 1 8 年 5 月 4 日 (土)
ふるさと歴史館視聴覚室

「フランスから見た日本と日本人一日仏文化の比較」

講師 アラン・ヴァクジアル氏

アラン氏は 1 1 歳で柔道、空手を始め、武道を通して、乱れを嫌う厳しさに惹かれと同時に神と仏が共存している事等から日本に興味を持つ様になりました。昭和 4 5 年パリ大学の学生時にビジネス・トレーニングの為来日し、大阪万博で通訳のアルバイトに従事し、考えていた以上のエネルギーを感じると共に、其の後の九州旅行での経験や、根本をはっきりさせない柔らかさにエキゾチックな興味が増しました。昭和 4 8 年フランス大使館経済部商務官として再来日し、現在良き江戸の情緒の残る向島に住んでいます。奥様は日本人、青山墓地に葬られる事を望んでいる程日本が好きなフランス人です。

ドア一枚で自分一人に為れる空間がないと落ち着いて生活出来ないフランス人は、障子戸一枚だけの民宿でどの様にプライバシーを保つかと疑問を持つが、日本人の持つ柔らかな雰囲気、日和見主義、先延ばし、行き違いがあっても其の中に入らず、遠目に見て相手の出方を待つ余裕等人間関係を和らげる、**ぼんやり**としたムード、全体として柔らかな雰囲気を好みます。他方フランスは個人主義の国であり、自分の意見をはっきり言います。論争の場合相手の弱点をキッパリと真正面から指摘しても、指摘された方も其れが指摘した人の考えであれば仕方が無いとして冷静に反論を加え、同意点と相違点を疲れも知らずに論じます。フランスには日本式の“まあまあ”は有りません。フランスでは個人を尊重する表れとして外国在住フランス人にユニークなシステム「外地在留フランス人評議会」が有ります。1 8 歳以上の外国在住フランス人全員から選挙で選ばれた 1 5 0 余名の代表が年 2 回本国に集まり外務大臣を交えて外国に住む不便、不平等、フランス語教育、納税問題その他種々の問題を 2 週間余討議する義務と権限を付されています。これも個人尊重の国家意識の現われと言えます。

梅雨のないフランス人の寂しさは心の中に常に乾燥剤を入れている様な心情に比べて、日本の梅雨時の湿気が日本独特の文化、侘び、寂び、無を追求する禅と繋がり、春夏秋冬の四季に支えられて、寡黙の文化が生まれたと考えられます。

現在、国際間の協調を計る様に世界全体が動いている故、彼是工夫する処に文化が生れる訳で、日本の**節度の文化**、フランスの契約を重んじ、**無駄を嫌う文化**の違いを認めた上で、今こそ欧米諸国との価値観の共有が必要な時代と考えます。

質疑応答にかなりの時間を割き、通貨、ナポレオン、ドゴールに対しての評価、隣国ドイツに対し持つフランス人の感情等に就いて取り上げられました。中でもユニークな質問「フランス人はフランス語に誇りを持っているのか、英語で話し掛けると、英語が話せても無視するか、フランス語で答えるとか言われているが？」答えは「以前フランス語が外交の公用語の時代はその様な事が有ったでしょうが、現在は多くの人（特に若者）が英語を理解しており、先ず最初に挨拶をフランス語ですれば、以後は英語で快く応じて呉れる」でした。これからフランスに旅行される方の参考になればと思います。

(額田)



講師のアランさんから、紹介された山下会長に、自分の講演会もさることながら、懇親会での皆さんの打ち解けた付き合いぶりに感心し、何度も楽しかったと言っておられたそうです。

(司会進行：三宅)

同好会だより

ヨガ同好会

世話人 大西 幸夫 TEL 395-2817

18年5月の実施状況

第74回：5月1日(水)

参加者：大西、額田の2名のみ、額田さんと1対1で気功とヨガを実施しました。

なお、午後は2人でトレーニングルームへ行き、エアーバイク、フットストレッチャー

第75回：5月21日(日)

旅行会の直後であり、額田さんはヨーロッパ旅行、風間さんはユニカール大会に参加等の理由から、参加者は滝川(桜子)さんのみで四方山話に時間をとり、しました。設備を使い下半身の運動を行いました。

今後の予定

第76回：6月7日(水)13時～

第77回：6月18日(日)10時～

なお、先にニュース5月号にて、第76回を6月5日(月)と案内しておりましたが6月7日の午後に変更しましたので、行き違いの無い様お願い致します、

場所は東村山スポーツセンター小会議室です。また、ヨガ同好会は5月現在75回を数えましたが私の一身上の都合から6月一杯で終了としたいと考えて居ります。



カラオケ同好会

世話人 内藤 慎 TEL 393-5071



5月例会は季節外れの寒さと、冷たい雨の降る5月13日ドレミで開催。芦田、小野、佐野、当間、夏山、内藤の6氏。

寒さに負けず元気いっぱい唄い捲りました。少人数の為皆さん十分に堪能されたようでした。

次回は 6月3日(土) 19:00より ドレミ

7月例会は先月のニュースでお知らせいたしました芽ぐみのママ追悼カラオケ移動教室を企画します。

ママの追悼とばんどうくにやすさんの激励を兼ねて新宿の一夜を過ごしたいと思います。多数のご参加をお待ち致します。

予定7月21日(金) 17:00～20:00

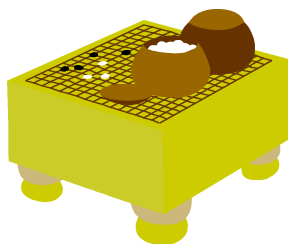
申し込みは電話で内藤まで。

(内藤記)

囲碁同好会

世話人 野村 保夫
高 鷲 近TEL 394-0417
394-2336

●6月例会と「6/10オール早稲田囲碁祭」参加のお知らせ○



●6月例会は6月17日(土)午後1時から、いつもの市民センター別館/2F奥の第6会議室で行われます。

●第6回オール早稲田囲碁祭が6月10日(土)、日本棋院/2階大会議室で開催されます。当支部も今回は有段者と級位者の2チームを編成して参加の予定です。

参加メンバーは福田、鈴木、高鷲、野村、佐久間、丸本、細渕、江藤、一色の9名です。ご声援をお願いします。

以上

園芸の会

世話人 三宅良太 TEL 394-5298



昨年夏、さぎ草の品評会にご来駕頂きました三鷹の陶芸家で山野草の研究家の三橋俊治氏（早大校友）のお宅に園芸の会有志で5月3日午後お訪ねさせて頂きました。あつもりそう、えびね、せっこく、おきなわちどり、すずむしそう等ご用意頂いた美事な鉢について詳しくご説明頂き、二階の温室や鉢台の沢山の美しい花々をゆっくり観賞させて頂き、つづけて一階工房の陳列室で三橋氏創作の立派な鑑賞用鉢等を拝見させて頂き、いずれもあまりの素晴らしさに感嘆しきりでした。紀子夫人から、ちまき、お菓子果物等おもてなし

頂き、帰りにせっこくやおきなわちどり他の鉢花を皆に頂戴し、大喜びで失礼させて頂きました。参加者は木谷夫妻、高部、當間夫妻、當摩夫妻、藤澤、三宅夫妻の10名でした。

次に5月14日（日）午前市民センター別館で春蒔き草花の苗の交換会を行いました。いつものように藤澤博恭氏はじめ参加者全員が順次草花にまつわる近況等歓談致しました。當間昭治さんは野菜作りの腕を上げられ収穫も楽しみの様子。土橋雄次さんは最近インドに旅行され、その土産話と紅茶をご持参頂きました。次回皆で味わいたいと思います。有り難うございました。そして皆が持ちよりの苗の交換を行いました。藤澤さんが例のごとく各種沢山の立派な苗をご持参頂きました。花の名前はマリーゴールド、ペチュニア、サルビア、ジニア、オダマキ、アゲラタム、朝顔、モナルダ、スターチス、五色とうがらし、アスター、初雪草、三寸あやめ、夏ジオン、インゲン、ミニトマト、ナス、伏見甘長と欠席の高部さんよりカスミ草、金せん花、西洋石竹等でした。参加者は大西、木谷夫妻、土橋、當間夫妻、長井夫妻、藤澤、山下夫人、三宅夫妻の各氏12名でした。

次回は目下育てているさぎ草の恒例の品評会を行います。

日時：8月20日（日）午後

場所：未定（詳細は次号でお知らせ致します。）大勢のご参加をお待ち致します。

ゴルフ同好会

世話人 堀田秀夫 090-8339-7179

第20回東村山稲門会ゴルフコンペ記念大会のお知らせ



月森様のお世話により西武園ゴルフクラブをとっていただきました。第20回の記念大会を賑々しくいたしたいと存じます。皆様多数のご参加をお待ちしております。奥様、ご息のご参加大歓迎であります。なお、詳細は稲門会ニュース7月号でお知らせいたします。

日 時 : 9月10日（日）
 コース : 西武園ゴルフクラブ
 スタート : 8:14から6組
 費 用 : 21,200円（キャディ・昼食・パーティその他含む）
 参 加 費 : 3,000円

旅行同好会

世話人 風間 和夫 TEL 3 9 4 - 5 2 7 9

小 亀 輝 雄 TEL 3 9 4 - 6 9 5 1

旅行同好会第 3 回報告

平成 1 8 年 5 月

古代の朝廷は福島県以北をみちのくと呼び浜側に勿来関、内陸に白河関を置いた。今回の宿は勿来関北方約 1 5 ㎞、古くから有名な湯本温泉の古瀧屋です。この湯本が故郷の岡田氏の手回しと風間小亀両幹事の努力と参加者の人柄の良さが相俟っての素晴らしい旅でした。

5 月 1 8 日朝小雨の中東村山駅前に着き、右正面に見えたバスの表示板が大手旅行会社のものと思い左回りに探し、動き出したバスに気付く府中街道に出た所で乗せて貰った。時刻は 7 時 5 8 分。新秋津で全員揃い、9 時過ぎ和光から高速へ。参加 2 8 名の大半はお顔を存じ上げている有名な方ですぐになじめ、風間幹事の名調子に笑いの絶えない道中でした。

北茨城 IC から国道 6 号を北上、野口雨情の生家、大津港を経て岡倉天心が明治の俊才兩家を糾合し日本美術院を開設した五浦着。県立岡倉天心美術館見学。伊東深水の企画展も素晴らしく、日本画の良さと明治の人の気概を感じた。六角堂見学は割愛。

天才の夢や五浦（いづら）は走り梅雨 俳句の積りです…？

昼食は健康センター勿来温泉関の湯。勿来関に着くと青空！新緑競う木の間越しに太平洋が光り、歌枕の情景が活き活きと感じられた。ただし、隣接資料館は改善の余地ありますね。

新緑や勿来の歌碑に時忘れ

かつて常磐炭坑は湯抜きが大変とされたが、出湯原因は石炭層の下の地核変動で海水が化石の様に閉じ込められ長い年月で塩分が抜け、太平洋プレートと日本が乗っているプレートがじりじりとずれる摩擦熱で熱くなり噴出するもの。湯本温泉はこの化石温泉を地元有力者が計画的に採取し広域配管供給しているので、高温（約 5 8 度）湯量豊富で湯質も良く、原則源泉掛け流しです。

ただし、古代からの長期地下停滞水なので飲用は不可です。

宴会は歌手の飛び入りで盛り上がり、さしつさされつ昔話や種々の出会いに時を忘れた。カラオケが始まり、芦田氏の美声、内藤氏の熱唱に続き三宅ご夫妻が登場、奥様に唄わせず独演。山下会長が聞かせた後、校歌一番を静かに歌いお開き。引続き幹事部屋に多勢集まり、ハ木氏から姫路の銘酒、月森岡田両氏から焼酎の珍品を頂き団欒と会話が果てしなく続いた。

1 9 日 4 時半起床、5 時前の風呂に数人の先客。江藤氏や諸先輩の話しを小 1 時間拝聴して部屋に戻った。午後から降る予報なのに、5 時過ぎからかなり強い雨！

朝食のバイキングをしっかりと頂き、雨中の出発。市内で校友経営の大平酒造見学と買物。次は鎌倉に滅ぼされた藤原氏の娘徳姫建立の阿弥陀堂。地名は平泉の泉を二分した白水。御堂は国宝、三尊二将は重文、鄙びた地にしっかりと年月を重ねている。荒廃した浄土庭園は近年自治体が整備し、緑が定着しつつある。駐車場はぬかるみ足元が汚れたが、雨は小休止。

徳姫の涙や梅雨の阿弥陀堂 失礼！下手な俳句は終了です。＊白水は「しらみず」

次は美空ひばりの歌碑と木下恵介監督の映画で有名な塩屋岬。活き雲丹とビールが絶品！あつ風間さん！済みません、ビールを持ってきて頂きましたね。ここも黒雲、降雨なし。

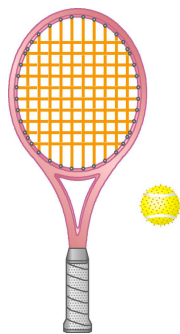
小名浜港ララミュウで食事ショッピング。激しい雨と霧で遊覧船欠航。帰路の車内は謎謎に興じた後は静かに。金沢運転士の適切な判断と運転でほぼ定刻に帰着。

お互いに再会を約し、三々五々帰宅された。 (文責 幸田)

参加者：赤荻、芦田、江藤、大西、大野、岡田、小野、小山、高橋、高鷺、月森、土橋、當間
内藤、額田、八木、風間、木谷夫妻、長井夫妻、三宅夫妻、山下夫妻、小亀夫妻、幸田

テニス同好会

世話人 當 間 昭 治 TEL 391-6023

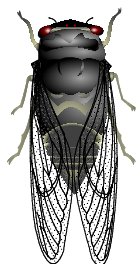


5月の例会は13日（土）久米川コートで実施予定でしたが、朝からの雨の為残念ながら中止となりました。次回の6月は6日（火）で平日の開催となりますが、梅雨前の好天を期待したいものです。2時間思いっきり、いい汗をかきましょう。7月と合わせて下記日程です。

記

日時： 6月6日（火）午後3時～午後5時
7月8日（土）午前9時～午前11時
場所： 両日とも久米川コート 3

俳句同好会（稲酔会）

世話人 高 杉 修 391-8447
井 垣 和 太 04-2924-2934

第27回稲酔会句会は6月24日（土）下記のように開催致します。

場 所 恩多ふれあいセンター
時 間 午後1時～午後4時（投句締切午後1時20分）
兼 題 「空 蟬」（うつせみ）
句 数 兼題・雑詠 併せて5句
欠席投句は、世話人（井垣）まで前日必着でお願いいたします。
句会終了後5時頃から「丸藤」で懇親会を開催します。

八木竜湖さん2週連続「読売新聞俳壇」に入選！！

兵庫県に移住された八木竜湖（勝利）さんは、日頃の精進が実を結び、10月24日、2月6日、に続き、4月24日、5月1日と2週連続で宇多喜代子選に入選されました。ご本人の喜びは言う迄ありませんが、我々稲酔会のメンバーも嬉しい限りです。ますますのご健吟を期待します。

お水取火のぬくもりを持ち帰る
耕人の重なり合ひし棚田かな

竜湖 (H18. 4. 24)
竜湖 (H18. 5. 01)

毎週月曜日の読売新聞の俳壇をご注目下さい。

（稲雀記）

俳 壇

勿来行くつつじの谷を見下ろして 大野 恵峰
歌碑辿る勿来の関の山若葉
旅人となる心地よき青田見ゆ 菊田 一平
薔薇の芽の赤し埴輪の目の暗し
桐の花橋を渡れば東京都
穀象のやうとも紙魚のたぐひとも 高杉 風至
秘書の机きの一輪挿しの薔薇深紅
まるで頭の替ずはりたるごとく昼寝覚
待ち人の多き街角若葉風 内 藤 慎
初夏の風郷里くにの香りを運び来る
五月雨や苔生す屋根の大神宮
五月晴走る車に黄砂舞う 丸本 北窓
白鷺のまだ釣人とある日暮かな
濁流の嵩かさ衰へて軽鴨集ふ
わらべらの毬追ふ影や麦の秋 八木 竜湖
湯の町の社に降る藤の房
鮎あしの香とぬめり新し解禁日
鮎竿を母にかたみと買われけり 井垣 稲雀
六メートル道路を渡る毛虫かな
四十雀鳴くだけ鳴いて別れかな
若枝を叩き落として青嵐
（前号掲載句訂正）
春霞群山押へ富士の嶺 内 藤 慎



応援部吹奏楽団との出会い

高橋 文子 (55 教)

愛用の B♭ のクラリネットを持って、本部キャンパスの立看板を一つ一つ見て歩く私。どのサークルも「新入生募集」のための出店を出し、先輩学生があちこちで、賑やかに勧誘の声を上げている。

高校の三年間、シンフォニックバンドとして、マーチやオーケストラ曲の編曲もの、吹奏楽のオリジナル曲等を吹いてきた。そして、大学の四年間もそのような吹奏楽のサークルで吹き続けたいと思っていたのである。しかし、お目当ての吹奏楽のサークルはまだ見つからない。当時の早稲田には名高いオーケストラや、プロ顔負けの実力を誇る金管中心のバンドはあったが、吹奏楽のサークルはなかったのだ。

と、ある一つの看板の文字が私の前に飛び込んできた。[応援部吹奏楽団] (え? 応援って、あの野球の?) 黒いブレザーにスカートの女子部員らしき人達が笑顔で声をかけてくる。お昼をだいぶ過ぎた頃だった。少し話を聞こうと思って近くの食堂と一緒にいった。

定食をご馳走になりながら、女子部員が入部できるようになって今年で五年目だとか、スポーツの応援だけでなく、定期演奏会や演奏旅行があるといった事を聞いた。

「野球は好きなの?」との質問に、「小さい時に谷沢選手のホームランボールを神宮の外野の芝で弟と追いかけた」事を話した。そう、私の父は、早高学院から文学部国文学科へ進み、昭和二十六年に卒業したのだが、昔の早慶戦の話をしてくれたり、六大学野球の観戦に連れて行ってくれたのだ。その広い球場で吹けるのは魅力だった。

こうして入部の意志が固まり、練習場へ出向いた。それは理工学部敷地内の自動車部部室脇にあった。四、五十人の部員がフォルテを吹くと窓ガラスがビリビリ震えるような、ビニール張りの床はあちこち破れて煤けた掘建て小屋だった。ここで同期、先輩、後輩だちと出会い、プロの先生方に指導を受け、応援歌をはじめ、ポピュラー、タンゴ、ミュージカル等様々なジャンルの曲にもめぐり逢ったのだった。吹奏楽団にとって、学生スポーツの応援や演奏会が一見華やかな檜舞台だとしたら、それを支えたのはこの小屋で練習を通して日々育まれていった一体感、連帯感だったのかなと思う。

応援部での四年間を書くとき枚挙にいとまがないが、私の場合、バンドとの出会いはこんな次第であった。当時の部員達は全国に散り、また各々仕事や子育てに多忙な世代だ。同期は音信不通の者も何人かいるけれど、きっとあの頃のように「気合」で乗り切っている、と信じている。

5 月度「お誕生会」報告



担当幹事：當間昭治

5 月度のお誕生会は 13 日、例会場の久米川駅南口「丸藤」で行われました。

該当者 13 名のうち 5 名 (赤荻、野口、森川 (進)、森本、吉田) の方々が出席。当日雑学講座のアラン講師、山下会長以下 14 名と合わせて 20 名。なごやかな雰囲気ですスタートしました。

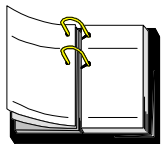
山下会長の挨拶。長井副会長の乾杯に続き、5 名の方々の名前を入れてのハッピーバースデーの合唱。記念品の贈呈の後懇親会に移りました。

スピーチは原則 5 分完。久し振りにお顔を出された野口さんは第 1 回ゴルフ大会の優勝の思い出と「ありがとう」の語源を話され、森本さんは三重のふる里の話。赤荻さんは鉄道マニアで 1 週間後にバルト海を旅し、又第 2 の職場で代表者としてメカの開発をしている吉田さん。奥様も早大の森川さんは八国山でかぶと虫を見つけた自然たっぷりの東村山の良さを話されました。

2 時間はあっという間、例によって居残り組とカラオケ組と帰宅組。皆様満足いただけたでしょうか。

7 月のお誕生会該当者

芦田均、川合宏幸、紅松喬、幸田瑞雄、高橋一彦、高部素行、高鷲近、富塚哲夫、鍋島高明
松永常尚、三宅良太、谷城長治、横尾正宏、奥村幾正



今月の予定

3 日 (土) 6 月 度 役 員 会
 カラオケ同好会
 6 日 (火) テニス同好会
 7 日 (水) ヨガ同好会
 10 日 (土) オール早稲田囲碁祭
 17 日 (土) 囲碁同好会
 18 日 (日) ヨガ同好会
 24 日 (土) 俳句同好会
7 月 の 日 程 (前 半)
 8 日 (土) 7 月 度 役 員 会
 雑学講座
 テニス同好会



編集局だより

編集局：小亀、伊藤

○お誕生会の出席者が当初予定していた人数より多く、毎月楽しい会を行っています。

自分の誕生日など久しく祝って貰ったことがないと言う方も多く、結構楽しまれています。

皆さんのスピーチもなかなか。ニークで、和気あいあいの雰囲気です。該当者の皆様は是非ご出席下さい。(小亀)

○5月21日「わくわくする市民の会」の席上で語られた、細渕市長、小町教育長の武藤家跡地に建設予定の「縄文体験館」に関する話は、極めて興味深いものであった。

現在の市の大幅な財源不足の状況の中で、「縄文体験館」構想は2年続きで延期が決まり、これを承けて道路の拡幅用地となっていた下宅部調査団事務所が撤去され、プレハブ2軒分の遺物が市内の各所に分散収納された。細渕市長、小町教育長のお話しは、市民団体からの要望に回答する形であったが、下宅部遺跡の文化財としての価値を評価され、出来るだけの努力をされるとのお話しであった。現在の市の財政状況を考えれば早急な箱物の建設は勿論無理な話なのだが、しかし行政の担当者として市民と共に文化財保護に前向きに課題の解決に向かっていきたいとの決意を示されたことは十分に評価される。政治家の拙劣な言葉に驚かされる今、当市の政治家がきちんと政治の言葉を伝えていることに安堵する思いであった。

○次回原稿の締め切りは1次が6月17日、2次が24日です。尚各同好会の記事が多くなっています。原稿用紙400字程度でお願いいたします。(伊藤)

**東村山稲門会設立10周年イベント基金修正目標150万円へ！
更なる事業充実への寄付金にご協力をお願いいたします。
10月まで受け付け中**

5月27日現在累計 1,165,000円 (53名)

ご芳名 (前回以降受付順 敬称略)
飯村和子 (2口)、野村保夫 (2口)、高橋正夫 (2口)、月森通夫 (2口)

寄付金 (1口 5,000円) のお振り込みは 下記銀行口座へ
みずほ銀行 久米川支店
普通預金 1876557 早稲田大学東村山稲門会
※郵便振替口座へ振り込まれても結構です。

基金担当 井垣